

平成 29 年 10 月 11 日

隠岐の島町長 池田高世偉 様

隠岐の島町庁舎建設検討委員会

委員長 林 秀 樹

隠岐の島町新庁舎建設に関する最終報告

本検討委員会は、平成 28 年 9 月 2 日に隠岐の島町長より招集され、12 回にわたり隠岐の島町新庁舎建設に必要な事項について検討しました。そして、平成 28 年 11 月 29 日には「(1) 新庁舎の基本指標 (2) 新庁舎の規模 (3) 新庁舎敷地面積 (4) 新庁舎建設位置」について中間報告として意見を述べました。

その後、平成 29 年 4 月 14 日に、隠岐の島町長より掌握事務の追加依頼があり、基本設計業務におけるワークショップへ参加するとともに、基本設計に住民としての意見を述べさせていただきます。

そして、隠岐の島町新庁舎建設基本設計業務が完了いたしましたので、本検討委員会としても最終報告をいたします。

1. 最終報告事項

中間報告書提出以降に検討を行った成果について以下のとおり報告します。

(1) 基本設計業務に係るワークショップについて

基本設計において住民の意見を反映させるためのワークショップに住民代表として参加しました。ワークショップにおいては様々な提案や意見が各委員から出されました。ワークショップの状況は、別添資料 3, 4 として添付しております。

(2) 基本設計業務について

基本設計書作成のために、ワークショップだけでなく、本検討委員会内においても様々な意見がでました。隠岐の島町及び設計受託者は本検討委員会の意見を可能な限り踏まえた基本設計書を作成していただけたと理解しております。

(資料 5 隠岐の島町新庁舎建設基本設計書成果品 (概要版) 参照。)

2. おわりに

本検討委員会では、多くの検討課題が山積する新庁舎建設について、活発に意見を述べ合い、また、建設候補地の現地調査や先進地視察を行うなどしてこの最終報告をまとめました。

平成 16 年 10 月 1 日に西郷町、布施村、五箇村、都万村の 4 町村が合併して隠岐の島町が発足しました。合併のシンボルである新庁舎建設は、13 年の年月を経て、いよいよ槌音が聞こえることとなり、町民の大きな喜びであります。

新庁舎の建設地は、国道 485 号に隣接した好条件にあり、旧西郷町はもとより旧布施・五箇・都万の各村からのアクセスが容易であることも特徴の一つであります。新庁舎には町民ホールやテラスも計画されており、多くの町民が訪れることが期待される基本設計となりました。

しかし、新庁舎建設場所の表明から、基本設計までの期間は短く、本検討委員会の意見を十分反映した庁舎建設計画にはならなかったのも現実です。このことから、今後の庁舎建設にあたっては、以下の事項を検討していただくようお願いいたします。

《庁舎建設事業にあたり今後町にお願いしたい事項》

- (1) 将来の関連施設の拡張を考慮し、新庁舎北側農地の取得も検討していただきたい。
- (2) 駐車場の利用については、議会時の混雑防止のため、議員専用駐車場を設けるなど運用を検討していただきたい。

これから建設される新庁舎は、防災、福祉、地域振興、子育てと幅広い分野に取り組む町民の大切な資産であります。人口減少、少子高齢化が進む中、町民と行政、議会が力を合わせ、豊かな自然と人情深いまちづくりを進める拠点として新庁舎が活用されることを願い最終報告とします。

【資料】

資料 1 隠岐の島町庁舎建設検討委員会委員名簿

資料 2 隠岐の島町庁舎建設検討委員会検討経過

資料 3 隠岐の島町新庁舎建設かわら版 第 1 号

資料 4 隠岐の島町新庁舎建設かわら版 第 2 号

資料 5 新庁舎建設基本設計業務成果品（概要版）